

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽
----	------	----	--------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ まんさくのかい 株式会社 万作の会	団体ウェブサイトURL http://mansaku.co.jp
代表者職・氏名	代表取締役 野村 二郎	
制作団体所在地	〒 112-0014 東京都文京区関口2-2-7	最寄り駅(バス停) 江戸川橋駅
電話番号	03-5981-9777	
ふりがな 公演団体名	まんさくのかい 万作の会	団体ウェブサイトURL http://mansaku.co.jp
代表者職・氏名	代表者 野村 万作	
公演団体所在地	〒 制作団体に同じ 制作団体に同じ	最寄り駅(バス停) 制作団体に同じ
制作団体 設立年月	1992年3月	
制作団体組織	役職員 代表取締役 野村二郎 取締役 野村武司・野村若葉子・三藤葉子	団体構成員及び加入条件等 (1)団体構成員…狂言師、または修業中の者 (2)加入条件…野村万作が各分野で必要と認めた者 役員4名、狂言師17名、事務員3名
事務体制 (専任担当の有無)	他の事業と兼任の事務担当者置く	本事業担当者名 小俣 美登里 小山田 智美
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名 黒澤 理英

制作団体沿革	1992年株式会社として設立。 人間国宝・文化功労者で日本芸術院会員の狂言師、野村万作と、その長男・野村萬斎を中心に、年10回程の主催公演を始め、劇場主催公演の企画制作など、国内外で公演を行い、狂言の普及に努める。 主催公演:「万作を観る会」(東京公演1992以前～、名古屋公演1998～) 「狂言ござる乃座」(東京1987～年2回、名古屋1998～、京都2006～) 「野村狂言座」(東京1998～年4回) よこはま「万作・萬斎の会」(横浜2000～) 「狂言ざん座」(東京2006～) 「狂言このあたり乃会」(東京2018～)など		
学校等における公演実績	令和4年度実績・予定 ・世田谷区内小学校公演(狂言ワークショップ、狂言「附子」) 28回 ・北海道天塩郡天塩町立天塩中学校にて町内小・中学生対象鑑賞会(解説・ワークショップ、狂言「盆山」) ・練馬区内小学校公演(狂言ワークショップ、袴狂言「盆山」) 5回予定 ・茨城県立土浦湖北高校鑑賞会(解説・ワークショップ、袴狂言「蚊相撲」、狂言「附子」) ・筑波大学附属高等学校鑑賞会(解説、狂言「棒縛」「六地藏」) ・東京都教育庁主催 中学・高校生対象狂言鑑賞会(解説・ワークショップ、狂言「附子」「茸」) ・日本青少年文化センター主催 足利市内小学校鑑賞会(解説、狂言「柿山伏」「附子」) ・練馬区立大泉学園中学校 狂言鑑賞会(ワークショップ、狂言「盆山」「附子」) ・開成中学校 狂言鑑賞会(解説と狂言2番上演)		
特別支援学校等における公演実績	平成25・27・29年 大阪府の国際障害者交流センター ビッグアイ主催「バリアフリー狂言会」に出演。 解説と狂言2番をあらゆるハンディに対する鑑賞サポート付きで上演。 平成26年度本事業で、山梨県立ろう学校にてワークショップ・公演を実施。 令和元年度本事業で、栃木県立盲学校にてワークショップ・公演を実施。 令和4年度本事業で、山梨県立やまびこ支援学校にてワークショップ・公演を実施予定。		
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://www.kodomogeijutsu.go.jp/video/traditional/a09.html	
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	なし
		PW:	なし

A区分・B区分・C区分共通

No.2(実演芸術)

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 万作の会 】

対象	小学生(低学年)	-			
	小学生(中学年)	○			
	小学生(高学年)	○			
	中学生	○			
企画名	日本の伝統芸能「狂言」を楽しもう ～体験と鑑賞～				
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	狂言「盆山」「附子」、狂言「蝸牛」より囃子言葉の掛け合いの場面 ※古典狂言の作品のため、いずれも作者未詳				
	【プログラム構成】 1、解説 「狂言を楽しもう」(約20分) 日本の伝統芸能「狂言」について、その歴史や題材・内容の特徴、洗練された豊かな表現技法、舞台や装束、演目の見どころや楽しみ方を解説します。共演演目の復習も行います。 2、狂言「盆山」上演(約15分) (休憩) 3、狂言「附子」上演(約20分) 4、共演体験 狂言「蝸牛」より…囃子言葉の掛け合いの場面(約20分) 装束を着けた山伏役が登場し、最後の復習をしてから本番に臨みます。 5、縮めの挨拶 狂言師が舞台に出て縮めの挨拶をします。感想発表・質問があれば対応します。 公演時間 90 分				
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否		該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある 場合	権利者名		許諾確認状況	
演目概要	いずれも古典狂言。「盆山(ぼんさん)」では、ある男が知人の家に盆山(盆の上に風景を作った置物)を盗みに入るが家主に見つかりからかわれ、動物の物真似をする羽目になる。「附子(ぶす)」では、主人に留守番を言いつけられた太郎冠者と次郎冠者が、猛毒の附子が入っているという桶の中身を怖々探る。共演体験を行う「蝸牛(かぎゅう)」では、主人の命で長寿の薬になる蝸牛(かたつむり)を取りにきた太郎冠者が、山伏を蝸牛と思い込み、囃子言葉で浮かれながら主人の家に向かうことになる。				
演目選択理由	いずれも鑑賞を通じて狂言や日本文化の特徴が感じられ、表現する楽しみを理解しやすい演目です。「盆山」には様々な動物の物真似、パントマイム的な動きや見立て等、想像力を働かせて楽しむ、狂言の「型」による表現が多く登場します。「附子」は狂言の代表的な作品で、日常を舞台に人物の喜怒哀楽が豊かに表現される、親しみやすい演目です。「蝸牛」では謡と舞の掛け合いで、日本古来の間やリズムを楽しむことができます。				
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	本公演の「蝸牛」では、児童・生徒はじめ参加者全員に太郎冠者役を受け持ってもらい、その囃子言葉と浮きの所作との掛け合いで山伏役の演者が舞うかたちで共演します。事前ワークショップでは全員で囃子言葉と浮きの所作を稽古し、本公演までの期間も、出来る範囲での復習と、本公演のみ参加する児童・生徒への指導をお願いしております。本公演では最後の復習をしてから本番に臨みます。山伏以外の演者も舞台に登場し、児童・生徒と共に囃して盛り上げます。先生方にもワークショップへ積極的に参加していただき、授業の盛り上げと、復習時の指導に御協力をお願いしております。				
出演者	監修:野村 万作(重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)、文化功労者、日本芸術院会員) 出演:石田 幸雄・深田 博治・高野 和憲 (以上、重要無形文化財総合認定保持者) 月崎 晴夫・竹山 悠樹・野村太郎・岡 聡史・中村 修一・内藤 連・飯田 豪・野村裕基・石田淡朗 (以上、能楽協会会員)				
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 5～6 名 スタッフ: 1 名 合 計: 6～7 名		運搬	積載量: 2 t 車 長: 5 m 台 数: 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無		前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出	
	12:00	12:00～13:00		13:30～15:00	10分	15:00～15:30	16時00分	
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。							
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月			
		3日			5日			
	11月	12月	1月	計	14日			
	3日		3日					
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。								
児童・生徒の 参加可能人数	本公演		共演人数目安		参加者全員			
			鑑賞人数目安		50～300人程度(応相談)			

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)

※採択決定後、採
択団体へ図面等詳
細の提出をお願い
します。



(図1) 体育館フロアに舞台を設置しての
実施の様子。ステージ前に舞台空間を設置
し、緞帳を下ろしてステージ上に楽屋を
用意しています。楽屋の設置場所によつて
ステージ位置を検討します。参加人数が100
名くらいまでであれば、より間近で演技を
体感できるこちらの形がおすすめです。
◆舞台設置に必要な面積：フロア上、幅約
15m以上、奥行約10m程度
※本舞台左側の「橋掛かり」前にも客席を
作ることが出来ます。



(図2) 体育館ステージ上に舞台を
設置しての実施の様子。鏡板(松羽
目)のサイズは図1と同じです。本
舞台(鏡板の前)から左側に橋掛か
りが伸び、その先の舞台袖中に楽屋
を用意します。橋掛かりの前には3
本の松が置いてあります(舞台セッ
トの一部)。
◆舞台設置に必要な面積：ステージ
幅8m以上、奥行5m以上



(図3) 能舞台での狂言「附子」上演の様子
学校鑑賞会でも、狂言を上演する際、狂言師は
写真の登場人物たちが着ているような本物の
「装束」(舞台衣装)を身に付けます。公演準
備として、楽屋には着付けのできる土足禁ス
ペースを確保していただくこと、舞台の床面は
乾拭きでできるだけ綺麗に掃除していただくこ
とをお願いしております。

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	20名～100名程度が最も効果的ですが、 200名くらいまでは対応可能です。
ワークショップ 実施形態及び内容	標準:90分 ワークショップでは、日本の伝統芸能・狂言についての基本的な知識と、その表現技術について学び、鑑賞会(本公演)でプロの狂言師と共演する狂言「蝸牛」の囃子言葉と所作(動き)を身につけることを目標とします。 始めに解説と実演で狂言に触れ、狂言師の表現技術を目の前で感じて頂きます。その後、伝統的な稽古方法にのっとり狂言の基礎を体験し、実践的な理解を深めます。 児童生徒・先生方は、体操服やジャージ等運動しやすい服装(スカートは不可)、靴下を履いた状態(上履きは脱ぐ)での参加をお願いします。(以下は順不同で行います。また、時間をみて休憩をとります) ①「狂言」の紹介…その歴史や特徴について解説します。 ② 実演(袴狂言「蝸牛」など)…お手本も兼ね、代表的な狂言の一部分を実演し、狂言師の表現技術を目の前で感じて頂きます。 ③ あいさつ…体験＝稽古の最初と最後に正座であいさつをし、学びの姿勢に切り替えます。 ④ セリフの体験…狂言の特徴的なセリフを学び、発声の基礎を体験します。 ⑤ 所作(動き)の体験…構エ・すり足、笑いははじめとする喜怒哀楽の表現など、狂言の基本となる「型」による所作を体験します。 ※各体験は基本的には全員で行いますが、時にはクラス別にさせたり、挙手や指名による代表者に前に出てもらったりと、児童・生徒に集中をうながしながら進めます。 ⑥ 狂言「蝸牛」の共演場面の稽古…囃子言葉の謡と、謡に合せた「浮き」の型を稽古します。狂言に伝わる日本の伝統的な言葉・リズム、息を合わせての掛け合い、身体表現による発散の楽しさをまとめて体感することができます。 ⑦ 締め括り…時間があれば狂言の「笑い」「泣き」といった喜怒哀楽の型の体験し、正座をして挨拶をして締め括ります。 ⑧さらに時間とご希望があれば、質疑応答を行います。		
ワークショップの ねらい	・本公演と内容的につながりを持たせ、事前に狂言への理解を体験的に深めて頂くことで、本公演への興味と教育効果をいっそう高めます。 ・挨拶・正座など、日本の伝統的な礼儀作法への理解を深めます。 ・狂言の「型」による表現と稽古を通して、基本の大切さを感じて頂きます。 ・大きな声ではっきりとセリフをいい、大きく体を動かして所作をすることで、自ら体を使って表現することの本質的な魅力を体感して頂ければと存じます。		
その他ワークショップに 関する特記事項等	 (図4) 三角コーンや平均台で能舞台のかたちを作り、児童・生徒にはその都度見やすく、動きやすいように位置を変えて頂きながら実施します。		※参考ページ：万作の会ホームページ (http://www.mansaku.co.jp) ★YouTubeチャンネル「野村萬斎@狂言ござる乃座」→ https://www.youtube.com/channel/UCfcZDtNB_qKhJ8cOG2qnCQA ★NHK総合テレビで放送・「萬斎と笑う時間」公式サイト→ https://www.nhk.jp/p/ts/2Z1R7JNL16/episode/te/G9L1VY6M4G/ ★YouTubeチャンネル「笑う門には福来たる! 野村萬斎の狂言エクササイズ」→https://www.youtube.com/watch?v=B6TNeqmfEUK

じょうえんないよう
● 上演内容 ●

【解説】「狂言を楽しもう」(約20分)

【鑑賞】狂言「盆山」(約15分)

【鑑賞】狂言「附子」(約20分)

【共演】狂言「蝸牛」(約20分)ー大きな声で囃子言葉を唱えて一緒に浮かれよう！

きょうげん ほんさん
狂言「盆山」

…登場人物：2人 (男, 何某)

ある男が、流行りの盆山(お盆の上に風景を作った置物)を盗もうと知りあい(何某)の家に忍び込むが、すぐに見つかってしまい物陰に隠れる。家主は隠れている男に、あれは盗人ではない、猿だ、犬だと言ってからかう。男は必死に動物の物真似をしてごまかそうとするが、最後に難問を出され…。

動物の物真似や、パントマイム的な動き、見立てなど、狂言の特徴的な「型」がたくさん登場する演目です。想像力を膨らませてご覧ください。

※ 言葉の説明

ほんさん[盆山]…箱庭のように、盆や浅い鉢の上に石や砂で山の形などを作ったもの。

あんない[案内]…あいさつすること。

しわいひと[吝い人]…けちな人。

よしがき[葭垣]…葦を結んで作った垣。

つぼ[坪]…中庭。

ひととおと[人音]…人のいる音、気配。

なむさんぼう[南無三宝]…驚いたり、失敗にきづいた時に発する語。大変だ。

なぶる[騙る]…からかう。

みぜせり[身ぜせり]…身体を細かく動かすこと。

きょうげん ぶす
狂言「附子」

…登場人物：3人 (太郎冠者, 主, 次郎冠者)

太郎冠者と次郎冠者は主人(主)から留守番を言いつけられる。二人は主人から、猛毒の附子が入っているので決して近づくな、といわれた桶の中身が気になって仕方がなく、何とか桶の中を見ようと知恵を絞る。ようやく中を見ることに成功すると、今度はそれを食べてみたいと太郎冠者が言い出して…。

とんち話でも有名な、狂言の代表的な演目です。太郎冠者と次郎冠者の活躍とともに、「型」を使って豊かに表現される登場人物たちの喜怒哀楽にご注目下さい。

※ 言葉の説明

ぶす[附子]…トリカブトという草の根を乾かして作った毒薬。

めっきやく[滅却]…死ぬこと。

じゅもん[誦文]…まじない。

きのどく[気の毒]…心配事。

どうしんでない[同心でない]…賛成しない。

わざをするものはかならずだまる[業をする物は必ず黙る]…ことわざ。祟りをするような者は決して騒ぎ立てたりせず、黙ってしずかに物事をするという意味。

りょうぜられる…魅了される。とりこにされる。

さとう[砂糖]…当時は黒砂糖。氷あめの状態で保存されており、貴重品であった。

よいことめされた…実は良くないことを、わざと反
 対に言うことば。
 きこえぬ[聞こえぬ]…道理のない。わからない。
 ざれごと[戯れ事]…冗談。
 もっけいおしょう[牧谿和尚]…中国の絵描きの僧。
 その絵は日本でも好
 まれた。

ひそく[秘蔵]…大切にしまっておく。
 だいてんもく[台目録]…台にのせた大きな天目茶碗。
 てどり[手取]…相撲が上手な人。
 なんぼう…どれだけ。いかほど。
 かしらかたの[頭固の]…丈夫な。頑丈な。
 がっきめ…こいつめ。
 おうちやくもの[横着者]…ずるい奴。

きょうげん かぎゅう 狂言「蝸牛」 一 共演体験

しゅじん そふ ちようじゆ くろ
 主人の祖父のため、長寿の薬になるというかたつむり（蝸牛）を取りにきた太郎冠者に、かたつむりと間違われた
 やまふし やま しゅう ちようのうりふく み そう
 山伏（山で修行して超能力を身につけた僧）が、かたつむりのふりをして、太郎冠者と一緒に囃子言葉で浮かれる
 ばめん えん
 場面を演じます。

★児童・生徒の皆さんは、太郎冠者になって、大きな声で山伏を囃してください。

やまふし はや はや
 山伏：さあさあ、囃せ囃せ
 たろうかじや こころ え あめ かぜ ふ
 太郎冠者：心得ました。雨も風も吹かぬに でざかまうちわろ でざかまうちわろ
 やまふし
 山伏：でんでんむしむし。でんでんむしむし。でんでんむしむし。でんでんむしむし
 たろうかじや あめ かぜ ふ
 太郎冠者：雨も風も吹かぬに でざかまうちわろ でざかまうちわろ
 やまふし
 山伏：でんでんむしむし。でんでんむしむし。でんでんむしむし。でんでんむしむし
 （後、演技が終わるまでくりかえし）

※でざかまうちわろ…「でざ」は「出すば」の縮まったもの。「かま」は「殻」のこと。
 「出てこないなら、殻を打ち割るぞ」という意味。

だんたいしょうかい まんさく かい 団体紹介 — 「万作の会」

まんさく かい にんげんこくほう の むらまんさく ちやうしん こうえん おこな まうげん し
 「万作の会」は、人間国宝・野村万作を中心に公演を行う狂言師のグループです。万作をはじめ、野村萬斎・石田幸
 お まんさく かい まうげん し こくないがい おお まうげん し のうこうえん しつえん がっこう げきじやう かんまき
 雄ほか「万作の会」の狂言師たちは、国内外で多くの狂言・能公演に出演しています。また、学校や劇場などで観客
 まうげん たいかん おこな だいがく せんもんがっこう こうし しどう
 に狂言を体感してもらうワークショップを行ったり、大学やカルチャースクール、専門学校などで講師として指導を
 おこな まうげん ふ せうかつどう つと まうげん すぐ ひやうげん ぎ ほう い あたら こうさ
 行うなどし、狂言の普及活動に努めています。また、狂言の優れた表現技法を生かした新しい試みにもしばしば取り
 く えん ぎ えんしつ たか ひやう か う
 組み、その演技・演出でも高い評価を受けています。

まんさく かい
 万作の会ホームページ <http://www.mansaku.co.jp>

- ★万作の会のYouTubeチャンネル「野村萬斎@狂言ござる乃座」では、
 野村萬斎をはじめとする万作の会の狂言師が、狂言の「型」をレクチャー
 する動画を配信しています。ぜひご覧ください。

